

置 言

租國非常時の聲を聞くこと久しく今や危機既に解消せりとさへ叫ぶ者ある時眞に時局を憂慮し憂國の至情により之が徹底的解消を企圖する我等はこの國家非常時を單なる對外問題のみに幻惑されし近視眼の一連の俗輩を嗤ふと共にその根本禍因が實に全國四千萬農民の生活窮乏による社會不安にあることを知り若し今にして農村問題の解決も萬全を期せずば遂に萬里の長城も堯帝三尺の高きに及ばざりし古事履徹の悔を千載に残すべきあるを憂ふるものである。  
如斯は實に我等が持つ根本的社會認識にして我等はこの立場を死守すると共に團結の威力を知り四千萬農民の決死的輿論を擁ひて昭和維新の斷行と新日本の建設に邁進すべき榮與を誇るものである。

右 宣 言 す

昭和九年十月十三日

皇道會浮羽支部結成大會

日農浮羽聯合會秋季大會

